

平成 21 年度 第 2 回

**新鳥栖地区定時制高校
設置準備委員会**

日 時 平成 21 年 7 月 28 日 (火)
15 : 00 ~ 16 : 30

場 所 鳥栖工業会館
(佐賀県立鳥栖工業高等学校同窓会館)

会順（目次）

	頁
開会	1
教育委員会挨拶	1
委員長挨拶	1
協議事項	
1 教育目標・めざす学校像・各指導方針（案）について . . .	2
2 教育課程（案）について	4
3 現在の検討内容について	5
4 作業スケジュールについて	9
5 その他	11
閉会	11
資料 教育課程（案）	12
工業科の過去の課題研究テーマ	15
新鳥栖地区定時制高校生徒数推移見込み	16
新鳥栖地区定時制高校設置準備委員会委員名簿	18

開会

教育委員会挨拶

委員長挨拶

協議

1 教育目標・めざす学校像・各指導方針（案）について

（1）教育目標

働きながら学ぶという基盤に立ち、広い視野と豊かな想像力を持ち、自ら学ぶ力と自ら律する力を備え、心身ともにたくましく、個性豊かで人間愛に満ちた、社会に貢献できる人材を育成する。

（2）めざす学校像

勤労と学業を両立させ、たくましく、前向きに、夢に挑戦できる学校
多様な進路を選択する生徒のニーズに応え、計画的にキャリア教育を行う学校
普通科と機械・電気科を併置するため、「ものづくり」を積極的に取り入れた教育を推進する学校
社会生活に必要な基本的な生活習慣、生活マナー、言葉遣いなどを身につけた社会人を育成する学校

（3）学習指導方針

分かる授業の実践と、基礎学力及び工業技術・技能の定着

望ましい社会人として必要な学力や技術を身につけさせるために、教材を工夫し、生徒に応じた適切な指導を行う。

一時間の授業を重視し、意欲や関心を喚起し、積極的に学ぶ態度を養う。

各種資格取得に積極的に挑戦させ、達成感を味わせるとともに、生活や職業に生かすことの出来る知識や技能を養成する。

人としてのあり方、生き方について考えさせ、道徳心を磨くとともに、健やかな身体を養う。

（4）進路指導方針

計画的・継続的・組織的なキャリア教育を推進し、勤労を尊ぶ健全な気風を養う。

・ 就職指導

基礎学力の徹底と専門教育の充実及び資格取得の推進を図る。

職場訪問や懇談会等により地域社会との連携を密にする。

ハローワークと連携しながら、常に就職情報を分析し、求人開拓、斡旋、指導の組織体制を整備する。

- ・ 進学指導
大学、専門学校等についての進学情報を提供する。
進学希望者に対して個別指導を実施する。
学力向上のために補習を実施する。

(5) 生徒指導方針

生徒の実態に即した指導を行い、基本的な生活習慣や規則を守る態度を身に付けさせ、学校・社会の一員としての自覚を持たせる。

挨拶・服装、マナー指導（通学、集会）を徹底する。
生徒会活動、部活動、ボランティア活動を推進する。
勤労生徒の就業実態を絶えず把握し、学業との両立が図れるよう指導する。
交通安全教育の徹底を図り、交通事故防止に努める。
家庭や職場との連携を密にし、適切な指導を行う。

(6) 保健指導方針

規則正しい生活習慣を確立させ、自主的に健康管理ができるよう援助する。
生命尊重の基本理念に基づき、自分自身や関わりを持つものを大切にできるよう援助する。
健康診断、事後指導、個別指導の徹底を図る。
家庭及び関係機関との密接な連携を図る。

(7) 教育相談指導方針

人間関係のあり方、コミュニケーション能力・態度を養い、社会人としての人格形成を図る手助けをする。
面談を通して生徒理解につとめ、問題の早期発見とともに、個々の生徒に応じた適切な指導を行う。
学校カウンセラーや専門機関と連携をとりながら、職員が集団として、問題を抱えた生徒に対して心理的援助活動を行う。

2 教育課程（案）について

(1) 必履修科目、選択科目の設定

教育課程（案） 資料 P.12～P.14

(2) 学校設定科目の設置について

- ・「マルチメディア基礎」 「パソコン技術基礎」 or 「ICTライセンス」(案)
 専門科目として「マルチメディア応用」があるため、関連がないような適切な名称を検討している。

学校設定科目科目「マルチメディア基礎（案）」の概要

科目名	マルチメディア基礎			教科名	工業			
種 別	必履修	選択必履修	選択	単位数	開校学期	通年	前期	後期
教科書	なし			副教材	自作プリント，市販ガイドブック等			
履修条件（履修順序）	特になし							
履修上の注意事項	パソコンの基礎的知識や操作法に興味・関心がある生徒を対象とする。							
学習の目標	情報化社会に対応するため、情報技術の基礎的知識と技術を習得させる。							
学習内容	前期	(1)「ワープロ基礎」では、ワープロソフトWordを使って文書作成に取り組み、更に写真やイラストを入力する方法について学習する。 (2)「表計算基礎」では、表作成ソフトExcelを使って集計表の作成に取り組み、データの集計方法について学習する。 (3)「表計算応用」では、「表計算基礎」で作成した集計表を使ってグラフを作成し、より視覚的に理解しやすいデータ公開の方法について学習する。						
	後期	(4)「データ通信」では、メールソフトを利用してメール文書を作成し、効率的な通信方法について学習する。 (5)「マルチメディア」では、情報通信ネットワークを利用して、ホームページの作成方法について学習する。 (6)「データアクセス」では、複数のデータ表を作成しそれらを相互に関連づけて、データ管理の方法について学習する。						

(3) 基礎学力向上対策

- ・習熟度別指導やT T授業の実施について

実施科目	展開例
【習熟度別指導】 ・数学（必履修）	「大学進学希望者や数学が得意な生徒」と「基礎学力が不足している生徒」に分けて実施
【T T授業】 ・国語表現	〔グループ学習など、活発な活動が出来る。〕
・英語	〔学力差のある科目であり、効果的な指導が出来る。〕
・O C	〔A L T（現在は配置がない）とのT T授業 〕
・情報技術基礎	年間を通じて、資格取得指導を実施。筆記試験と実技試験があり、後者の指導ではC A I室でT T授業を実施。

3 現在の検討事項について

(1) 特色ある学校づくり(案)

「ものづくり」学習の推進について

実施時間の設定について

- ・普通科は「総合的な学習の時間」、工業科は「課題研究」を同時に行い、「ものづくり」を主なテーマとした取組を行う。(4年次3時間の実施)

実施内容について

- ・普通科については、家庭科(服飾手芸など)、美術科などを検討している。

- ・工業科については、引き続き課題研究として取り組む。

過去の課題研究のテーマ 資料 P.15

進路指導の充実のためのキャリア教育

現状の反省のなかで、進路指導が不十分であるとの指摘があった。

【対応】

LHRの時間を活用し、4年間を見通して計画的にキャリア教育を実施する。

- ・ 4年間のキャリア教育の計画作成
- ・ LHRの年間計画（4学年分）

資格取得等のための各種講座の開設

資格取得や就職試験に向けた対策など、正規の授業以外で実施する各種講座を下表の通り検討している。

	項目	内容	目的	期間	選択の可否	
					普通科	機械・電気科
1	第二種電気工事士資格取得対策講座	第二種電気工事士資格取得に必要な知識・技能の習得	第二種電気工事士資格取得	4月～7月(16:00～17:00) 6月:筆記試験,7月:技能試験 週5日間		
2	ガス溶接技能講習	ガス溶接に必要な知識・技能の習得	ガス溶接技能講習修了	7月(16:15～17:00) 1週間程度		
3	2級ボイラー技士資格取得対策講座	2級ボイラー技士資格取得に必要な知識の習得	2級ボイラー技士資格取得	7月～8月(16:15～17:00) 週5日間		
4	第一種電気工事士資格取得対策講座	第一種電気工事士資格取得に必要な知識・技能の習得	第一種電気工事士資格取得	9月～11月(16:00～17:00) 10月:筆記試験,12月:技能試験 週5日間		
5	危険物取扱者(乙種第4類,丙種)資格取得対策講座	危険物取扱者(乙種第4類,丙種)資格取得に必要な知識の習得	危険物取扱者(乙種第4類,丙種)資格取得	10月～11月(16:15～17:00) 週5日間		
6	就職試験対策講座(一般常識編)	就職試験に頻出の一般常識問題に対応できる基礎学力の定着	就職内定	7月～8月(40分×3コマ 18:00～20:15)週2～3日間		
7	就職試験対策講座(作文・面接編)	就職試験に向けた作文力養成と面接対策の指導	就職内定	7月～8月(90分×1コマ 18:00～19:30)週2～3日間		
8	大学等推薦入試小論文対策講座	推薦入試の小論文に対応できる、知識・技術・思考力の養成	推薦入試合格	7月～8月(90分×1コマ 18:00～19:30)週5日間		

(2) 施設

普通教室の利用

- ・ 全日制と共用することとなるため、利用教室については現在検討中である。

生徒昇降口

- ・ 現在と同様の生徒昇降口を利用し、下足箱は数に余裕がある。

書道の授業

- ・ 普通教室を利用する方が有効利用できるもので、特別に書道教室を設けることはしない。

給食室関係

- ・ 生徒数の状況から今後の生徒数推移を見込んでいる。 資料 P.16
- ・ 収容人数を最大限広げる方向（調理器具の能力向上と机を替えるなど）で検討している。

定時制職員室

- ・ 現在の定時制職員室の拡張を検討している。

(3) 生徒指導

制服の在り方について

- ・ 両校の現状を踏まえ、各学校からの意見をまとめた上で検討する。

部活動の設置について

- ・ 全員部活で6月の総体前は授業を振り替えて実施するなどの活動の状況が同じであるので、鳥栖工業の部活動を引き継ぐことにする。
- ・ 活動生徒が増えることで、活性化が期待できる。特に、女子については人数が増え、試合出場が可能になると考えられる。

(平成21年度学校要覧より 5月1日現在)

鳥栖高校

部活動名	顧問	生徒数		
		男	女	計
バスケットボール	4	11	11	22
バレーボール	2	0	16	16
卓球	3	4	11	15
計	9	15	38	53

在籍者数
55

(休学2を除く)

鳥栖工業高校

部活動名	顧問	生徒数		
		男	女	計
総務(生徒会)	2	6	2	8
卓球	2	5	4	9
陸上	3	9	0	9
バレーボール	4	10	2	12
バスケットボール	3	12	0	12
総合	3	9	1	10
野球	6	22	0	22
計	23	73	9	82

在籍者数
54

(重複入部)

部活動顧問の状況 2部兼務 2
2部兼務 + 総務 2

生徒会活動の在り方について

- 鳥栖工業高校では、生徒会を会長、副会長、総務の8人で運営しており、年2回の生徒総会、会長選挙、対面式、卒業生を送る会、ホームマッチなどの学校行事を実施している。
- 統合後は、現在の活動を継続し、新たに加えることがないか今後検討することにする。なお、生徒の意見を聞くことも必要であると考え。

4 作業スケジュール

番号	校務分掌	項目	内容	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月					
				下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
1	総括	学校像	教育目標																								
2			めざす学校像																								
4			経営ビジョン																								
5		校務運営	校務分掌編成																								
6			委員会編成																								
7			教職員定数																								
8		特色ある学校づくり	「ものづくり」学習																								
9			各種講座の開設																								
10			魅力ある行事																								
11			学校の活性化																								
12		職員研修	年間研修計画																								
13		広報活動	パンフレット																								
14			学校案内																								
15			広報活動計画																								
16		施設・設備	給食運営																								
17			給食室改修																								
18			職員室改修																								
19			普通教室、昇降口配置																								
20			書道教室	普通教室の利用																							
21		教務	教育課程	必修、選択科目設定																							
22	学校設定科目																										
23	授業展開																										
24	教育課程表作成																										
25	教科書選定																										
26	基礎学力向上対策																										
27	教室利用計画																										
28	教育計画		学習指導方針																								
29			学習指導計画																								
30			学習評価計画																								
31			教務内規	単位認定																							
32			校時表作成																								
33			時間割作成																								
34			年間行事計画																								
35		LHR年間計画																									
36	総合的な学習の年間計画																										
37	進路指導	指導計画	指導方針																								
38			年間指導計画																								
39		就職指導の充実	指導方針																								
40			関係機関との連携																								
41		進学指導の充実	指導方針																								
42			小論文指導																								
43		特課等指導																									
44	生徒指導	指導計画	指導方針																								
45			年間指導計画																								
46		制服	制服のあり方																								
47		部活動	部の設置																								
48			活動計画																								
49	生徒会活動	年間行事計画																									
50		生徒会活動のあり方																									
51	学校保健・安全	指導計画	指導方針																								
52			学校保健・安全計画																								
53		給食	指導計画等																								
54			教育相談	指導方針																							
55		指導体制																									
56		年間指導計画																									
57	人権同和		指導方針																								
58			年間指導計画																								
59	職員研修		年間計画																								

5 その他

閉会

教育課程（案）1〔必履修科目及び必修科目〕

科目		普通科					機械・電気科					
		1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	
必履修科目	普通科	国語総合	2	2			4	2	2			4
		世界史A		2			2			2		2
		日本史A										
		日本史B										
		地理A									2	2
		現代社会	2				2		2			2
		数学	3				3	3				3
		理科基礎		2			2		2			2
		理科総合A									2	2
		理科総合B										
		生物										
		地学										
		体育	2	1	2	2	7	2	1	2	2	7
		保健	1	1			2	1	1			2
		美術										
		書道					2					2
		英語	3				3					
		オーラル・コミュニケーション		2			2	2				2
		家庭基礎								2		2
		家庭総合	2	2			4					
情報A	2				2	情報技術基礎で代替						
必履修(普通)	19	12	2	2	35	12	8	6	6	32		
総合的な学習の時間				3	3	課題研究で代替						
必履修 小計	19	12	2	5	38	12	8	6	6	32		
必修科目	普通科・工業科	数学A		2		2	/	/	/	/	/	
		体育		2		2	/	/	/	/	/	
		英語	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		普通教科 計		4		4			2		2	
	機械コース	工業技術基礎						3			3	
		課題研究								3	3	
		情報技術基礎						2			2	
		実習							3	3	2	
		製図							2	2	2	
		工業数理基礎							2		2	
		機械工作						2			2	
		機械設計							2	2	2	
	専門(機械コース) 計						7	9	7	9	32	
	電気コース	工業技術基礎						3			3	
		課題研究								3	3	
		情報技術基礎						2			2	
		実習							3	3	3	
		製図							2		2	
		電気基礎						2	4		6	
		電気機器								2	2	
電力技術									2	3		
専門(電気コース) 計						7	9	7	9	32		
履修 小計		4			4	7	9	9	9	34		

1 普通科の生徒は、後に示す選択科目群P,K,Lから日本史(AまたはB)か地理Aを少なくとも1科目は選択すること

2 普通科の生徒は、後に示す選択科目群N,Jから、生物、地学 または理科総合Bから少なくとも1科目は選択すること

教育課程（案）2〔選択科目〕

科目	普通科					機械・電気科				
	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
国語表現			2(J)		0,2	J		2(J)		0,2
国語表現			2(M)		0,2	M			2(M)	0,2
現代文		3(N)			0,3					
古典			4(P)		0,4					
世界史B			4(O)		0,4					
日本史A			2(K)		0,2	K		2(K)		0,2
日本史B			4(P)		0,4					
地理A			2(L)		0,2					
現代社会		2(J)未履修のみ			0,2					
倫理			2(M)		0,2					
政治・経済			隔年開講							
数学基礎			2(L)		0,2	L			2(L)	0,2
数学			4(O)		0,4					
数学A						I	2(I)			0,2
数学B		2(J)			0,2	J		2(J)		0,2
理科総合B		2(J)			0,2					
生物		3(N)			0,3					
地学		隔年開講								
美術			2(K)		0,2					
美術			2(M)		0,2					
書道			2(K)		0,2					
書道			2(M)		0,2					
英語			4(O)		0,4					
リーディング		3(N)			0,3					
ライティング			4(P)		0,4					
家庭基礎			2(M)未履修のみ		0,2					
情報B			2(K)		0,2					
フードデザイン		2(J)			0,2					
発達と保育			2(L)		0,2					
消費生活			隔年開講							
体育							2(I)			0,2
生産システム技術						L			2(L)	0,2
機械工作						I	2(I)			2,4
原動機			2(M)		0,2	K,M		2(K)	2(M)	0,2,4
電気機器			2(M)		0,2	M			2(M)	0,2
電子技術						I	2(I)			0,2
ハードウェア技術						K		2(K)		0,2
マルチメディア応用						L			2(L)	0,2
パソコン技術基礎(案)			2(M)		0,2					
選択科目 小計		3	17	14	34		0	2	4	10
単位数計	19	19	19	19	76		19	19	19	76
機械コース							19	19	19	76
電気コース							19	19	19	76
ホームルーム(HR)の時間	1	1	1	1	4		1	1	1	4
修得単位+HRの時間	20	20	20	20	80		20	20	20	80

3

1 普通科工業科共通選択科目群Kの「美術」「書道」については、1年次に履修していた科目は選択できない。また、履修順序の関係で、選択科目群Kと選択科目群Mから、「美術」と「美術」、「書道」と「書道」の並行履修はできない。

2 工業科のみの選択科目群の「機械工作」については、1年次に必修科目として2単位履修しているため、合計履修単位数は2または4単位となる。

3 上の表の右欄外 印の科目が、相互選択科目となる。

選択科目群

普通科のみの選択科目群

選択枠	単位数	科目名	備考
N	3	現代文、(生物、地学)、ライティング	2,3年次共通
O	4	世界史B、数学、英語	3,4年次共通
P	4	古典、日本史B、ライティング	3,4年次共通

工業科のみの選択科目群

選択枠	単位数	科目名	備考
I	2	数学A、機械工作、電子技術、体育	2年次

普通科工業科共通選択科目群

選択枠	単位数	科目名	普通科選択年次	工業科選択年次
J	2	国語表現、現代社会、理科総合B、 数学B、フードデザイン	2,3,4年次共通 「現代社会」は未履修者のみ	3年次
K	2	日本史A、美術、書道、情報B 原動機、ハードウェア技術	3,4年次共通	3年次
L	2	地理A、数学基礎、(発達と保育、消費生活) 生産システム技術、マルチメディア応用	3,4年次共通	4年次 地理Aは全員履修のため除く
M	2	国語表現、(倫理、政治・経済) 美術、書道、家庭基礎、 原動機、電気機器、パソコン技術基礎(案)	3,4年次共通 「家庭総合」は未履修者のみ	4年次

()で括った科目は、隔年開講。

ものづくり学習の推進(鳥栖工業高校の例)

・具体的な展開例

課題研究のテーマ(電気科)・・・過去3年間

- ・PICマイコンによるLED制御盤の製作
- ・総合工事实習
- ・1石ワイヤレスマイクの製作
- ・大型溶接台の製作
- ・シーケンス制御盤の製作
- ・下駄箱の製作
- ・溶接実習用仕切板の製作
- ・電子ルーレットの製作
- ・ライントレースカーの製作
- ・スリッパ棚の製作

課題研究のテーマ(機械科)・・・過去5年間

- ・CADによる図面製作
- ・棚製作
- ・テレビ台製作
- ・プリンタ台製作
- ・メタルクラフト
- ・模型工作
- ・アニメーションの製作
- ・スリッパラック製作
- ・傘立て製作
- ・ナイフメイキング
- ・ブックエンドの製作
- ・ペータークラフト

入学者数・在籍者数による平成23年度以降の生徒数の状況推定

在籍者数

年度		H21				
		計	1年	2年	3年	4年
鳥栖	男	16	4	7	3	2
	女	39	15	8	10	6
	計	55	19	15	13	8
鳥栖工業	男	47	12	11	12	12
	女	7	3	0	2	2
	計	54	15	11	14	14

入学者数
1年
2年
3年
4年
卒業者数

生徒数の状況と推定

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	平均	H22	H23	H24	H25	H26
鳥栖						18	16.2	22				
					10	19						
				16	11	15						
			10	18	16	13						
		27	14	18	11	8						
		15	30	25	20	12	13	12.8	13	9	6	
		15	16	13	9	15						
		20	17	9	13							
	12	11	9									
	13	14										
	13											
中退等	0	9	3	12	4	6	5.6	6	4	3	2	
在籍者数	60	74	61	65	50	55	61	58	39	26	17	

5年平均入学者数	16	
5年最大入学者数	27	
平均	21.5	
5年平均卒業者数	13	
5年最大卒業者数	15	
平均	14.0	23%
	/61	
5年中退等平均	6	10%

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	平均	H22	H23	H24	H25	H26	
鳥栖工業						13	18.0	22	44	44	44	44	
					15	15							
				18	15	11							
			18	21	13	14							
		26	19	16	16	14							
		23	26	25	21	20	11	16.8	12	17	21	24	25
		21	19	16	15	19							
		22	20	19	13								
	23	23	14										
	23	17											
	21												
中退等	6	10	10	11	7	7	8.8	7	9	11	13	13	
在籍者数	89	88	79	73	64	54	72	58	83	101	113	120	

5年平均入学者数	18	
5年最大入学者数	26	
平均	22.0	
5年平均卒業者数	17	
5年最小卒業者数	13	
平均	15	20.9%
	/72	
5年中退等平均	8.8	12.3%
2校平均	11.1%	H23以降

54-11-7+22=58

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	平均	H22	H23	H24	H25	H26	
鳥栖工業						13	18.0	18	34	34	34	34	5年平均入学者数 18.0
					15	15							
				18	15	11							
			18	21	13	14							
		26	19	16	16	14							
	23	26	25	21	20	11	16.8	11	11	15	18	20	5年平均卒業生数 17.0
	21	19	16	15	19								
	22	20	19	13									
	23	23	14										
	23	17											
21													
中退等	6	10	10	11	7	7	8.8	6	8	9	11	11	5年中退等平均 8.8 12.3%
在籍者数	89	88	79	73	64	54	72	54	71	86	96	101	2校平均 11.1% H23以降

$$54 - 11 - 7 + 18 = 54$$

鳥栖地区定時制高校の生徒数の見込み

鳥栖高校	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
生徒数	50	55	58	39	26	17	

鳥栖工業	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
生徒数A	64	54	58	83	101	113	120
生徒数B	64	54	54	71	86	96	101

(注)

生徒数Aは入学者数と卒業生数の過去5年平均と入学者数の最大及び卒業生数の最小との平均による見込数
 生徒数Bは入学者数と卒業生数の過去5年平均による見込み数

新鳥栖地区定時制高校設置準備委員会委員（平成21年4月）

No.	所属・職名	氏名	備考
1	鳥栖工業高等学校校長	大串 繁樹	委員長 鳥栖工業高校関係者
2	鳥栖工業高等学校教頭	山口 智啓	鳥栖工業高校関係者
3	鳥栖工業高等学校事務長	野口 茂実	
4	鳥栖高等学校校長	富松 九三男	副委員長 鳥栖高校関係者
5	鳥栖高等学校教頭	家永 國廣	鳥栖高校関係者
6	鳥栖工業高等学校PTA代表	橋本 照美	地元関係者
7	鳥栖高等学校PTA代表	村田 徹	
8	鳥栖市教育長	榑崎 光政	鳥栖市関係者
9	鳥栖市立基里中学校校長	三橋 早苗	中学校関係者
10	総務課長	伊東 博則	県教委関係者
11	教職員課長	中島 秀明	
12	教育政策課長	坂本 兼吾	
13	学校教育課長	平山 又一	
14	体育保健課長	塚原 康弘	
15	学校再編・新太良高校準備室長	峰 雅樹	
16	学校再編・新太良高校準備室参事	古賀 信孝	
事務局	鳥栖工業高校教諭	辻 雅也	
	学校再編・新太良高校準備室企画主査	上赤 真澄	